



「モノ認識」 x 「モバイル」 x 「自動化」 = AsReader

IoT x AsReader = DX Digital Transformation



2026年8月期

決算説明資料

 Asterisk Inc.

株式会社アスタリスク

証券コード：6522

2026.10.15

1. トピックス	P3
(1) トピックス	
(2) エグゼクティブサマリー	
(3) 第20期（2026年8月期）連結業績ハイライト	
(4) 第20期（2026年8月期）単体業績ハイライト	
2. 経営環境、当社の動きと成長イメージ	P18
3. お問い合わせ	P20

(1) トピックス

1. (1) トピックス① 新株予約権の行使により、23.8億円の資金調達

EVO FUND社の新株予約権権利行使による資金調達

当社が2024年9月17日にEVO FUNDに対して発行した新株予約権について、一部権利行使および払込が完了

第三者割当による第5回～第7回新株予約権（行使価額固定型）の募集概要

	割当先	個数	株式の種類と数	1株当たり行使価格	発行決議日	権利行使期限
第5回新株予約権	EVO FUND トリプルウィン	3,600個	普通株式 360,000株	550円	2024年8月30日	2027年9月17日
第6回新株予約権	EVO FUND トリプルウィン	2,000個	普通株式 200,000株	700円		
第7回新株予約権	EVO FUND トリプルウィン	1,000個	普通株式 100,000株	1,000円		

※第1回～第4回および第8回新株予約権は役員および従業員を割当先としたストック・オプションになります。

※2026年4月14日時点の状況になります。

概要説明

2026年3月19日付で第6回新株予約権（160,000株）、同年3月24日付で第7回新株予約権（80,000株）の行使が行われ、合計1億9,200万円の資金調達を実施いたしました。本件に伴い、資本金および資本準備金がそれぞれ96百万円ずつ増加しております。なお、本権利行使をもちまして、EVO FUNDに対する割当分のすべてが行使完了となりました。

21.8億円の資金調達に成功 8/13、27リリース

当社が2026年7月13日にEVO FUNDに対して発行した新株予約権について、すべて（第9回および第10回）の新株予約権の行使が完了

第三者割当による第9回～第10回新株予約権（行使価額固定型）の募集概要

	割当先	個数	株式の種類と数	1株当たり行使価格	発行決議日	権利行使期限
第9回新株予約権	EVO FUND	5,750個	普通株式 575,000株	1,800円	2026年6月26日	2029年7月13日
第10回新株予約権	EVO FUND	5,750個	普通株式 575,000株	2,000円		

概要説明

2026年7月13日にEVO FUNDを割当先として発行した第9回および第10回新株予約権について、8月27日までに全ての行使が完了したことを発表しました。これにより、両新株予約権を通じた資金調達額は、合計21億8,822万円となりました。調達した資金は、2026年6月26日に公表した資金使途に基づき、既存事業の成長、新たな事業機会の創出および成長投資などに充当する予定です。今回の資金調達により当社グループの財務基盤を一層強化し、各施策を着実かつ迅速に推進することで、中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

1. (1) トピックス② 通期業績予想の修正及び特別損失の計上について

2026年8月期通期業績予想の修正及び特別損失（投資有価証券評価損）の計上に関するお知らせ ※2026年8月31日公表時点

2026年8月期におきまして、特別損失（投資有価証券評価損）を計上するとともに、2025年10月15日に公表しました2026年8月期（2025年9月1日～2026年8月31日）の連結業績予想数値について、修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,291	百万円 117	百万円 110	百万円 65	円 銭 8.38
今回修正予想（B）	1,450	△185	△230	△330	△41.92
増減額（B－A）	△841	△302	△340	△395	－
増減率（％）	△36.7	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （2025年8月期）	1,666	△125	△128	△182	△24.42

特別損失（投資有価証券評価損）

2026年8月期第4四半期連結会計期間（2026年6月1日～2026年8月31日）において、当社が保有する投資有価証券※について、投資有価証券評価損を特別損失として計上することといたしました。当該投資先については、足元の業績が当初の事業計画を大幅に下回って推移しており、継続して損失を計上するなど、財政状態についても当初の想定から大きく乖離しております。これらの状況に加え、今後の事業計画、収益性及び将来の回収可能性等を総合的に勘案した結果、当該投資有価証券の実質価額が著しく低下していると判断し、投資有価証券評価損101百万円を計上することといたしました。

※ CANDY HOUSE JAPAN 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：古哲明、以下「CANDY HOUSE」）の株式

業績予想の修正の理由

2025年10月15日に公表いたしました2026年8月期の連結業績予想と比較し、業績の見通しを修正することとなりました。主な要因として、当社グループが当期中の売上計上を見込んでいた米国子会社 AsReader, Inc.における大型案件（608百万円）について、顧客との調整等により売上計上時期が次期以降へずれ込む見込みとなったことに加え、日本国内においても一部の大型案件（231百万円）の売上計上時期が次期以降へずれ込んだことが、売上高及び利益面に大きく影響いたしました。また、将来の事業拡大に向けた研究開発投資及び研究開発体制の強化に伴う人員増加による費用の増加に加え、投資先の業績及び財政状態等を踏まえた投資有価証券評価損、並びに連結子会社である株式会社自動レジ研究所の事業廃止に伴う損失が発生すると見込まれます。これらの状況を踏まえ、通期の業績予想を下方修正する判断に至りました。

(2) エグゼクティブサマリー

2026年8月期 業績

2026年8月期 概況

売上高

前年同期	2026年8月期	計画
1,666 百万円	1,516 百万円 増減率 -9.0 %	計画比 -33.8 %

営業利益

前年同期	2026年8月期	計画
-125 百万円	-189 百万円 増減率 -	計画比 -

親会社株主に帰属する当期純利益

前年同期	2026年8月期	計画
-182 百万円	-271 百万円 増減率 -	計画比 -

売上高

当期の売上高は、米国子会社AsReader, Inc.および国内の一部大型案件について、顧客との調整等により売上計上時期が次期以降へずれ込む見込みとなったことから、前年同期比9.0%減となり、計画を下回りました。

一方、主力のAsReader事業では、既存製品が堅調に推移するとともに、RFID関連の新製品をローンチし、顔認証プラットフォームの社会実装も進展しております。

また、当期より戦略的に強化しているストックビジネスについても、継続収益につながる案件が着実に増加しております。当期は、新たな取り組みに経営資源を積極的に投下したほか、一部案件の売上計上時期に一時的なずれが生じたものの、中長期的な成長と安定収益の確保に向けた事業基盤は着実に強化されております。

営業利益

当期純利益

営業利益は、売上高の計画未達に加え、事業拡大に向けた研究開発投資や体制強化に伴う人件費の増加、不採算店舗の解消に伴う一時費用により計画を下回りましたが、将来の収益性向上に向けた事業基盤は着実に強化されております。また、当期純利益については、投資先の業績及び財政状態等を踏まえた投資有価証券評価損に加え、連結子会社である自動レジ研究所の事業廃止に伴う損失を計上しております。

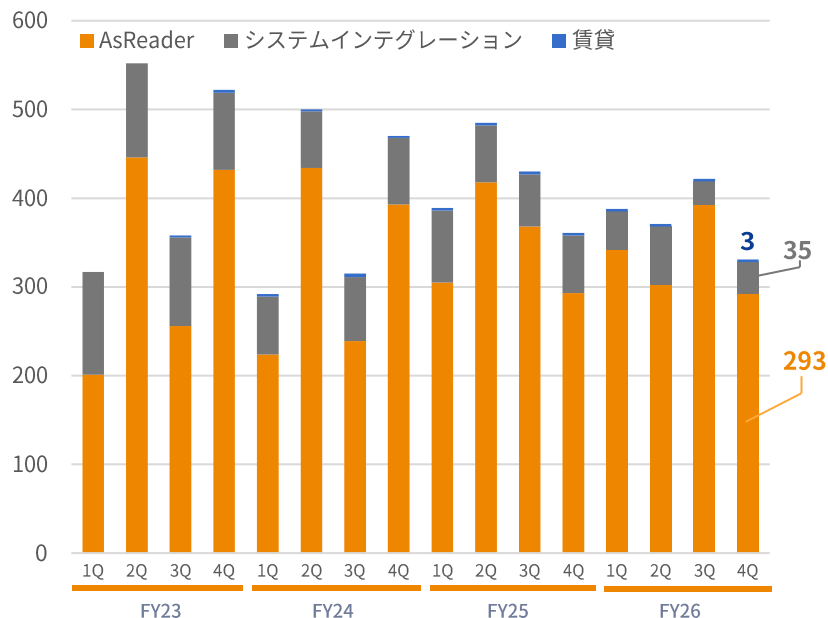
市場環境

RFIDソリューションの世界市場は、2024年の1兆6,431億円から、2027年には2兆3,379億円へ拡大すると予測されています。人手不足に伴う省人化・業務効率化に加え、流通・小売、製造、医療、物流などで活用が進み、欧州を中心としたDPPへの対応も市場拡大を後押ししています。RFIDは、商品識別や在庫管理にとどまらず、取得データを活用する次世代の業務基盤への発展が期待されています。

(3) 第20期（2026年8月期）連結業績ハイライト

1. (3) 連結業績推移

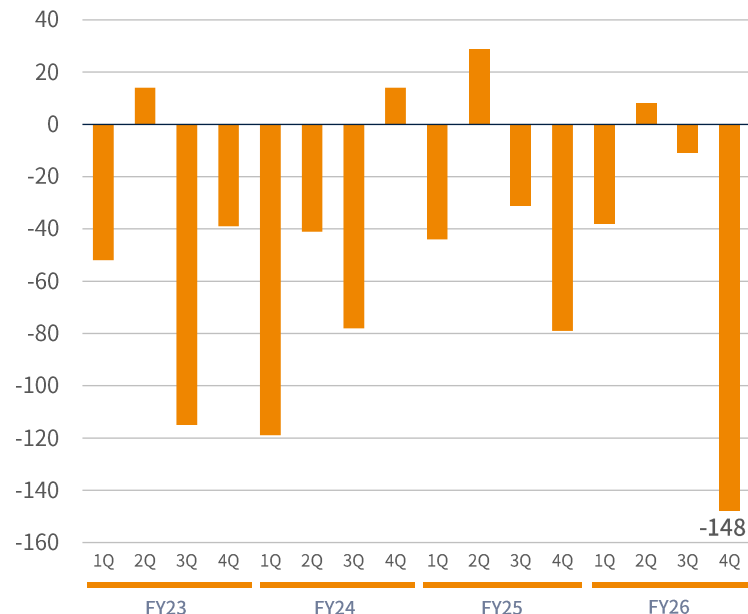
売上高 (百万円)



売上高 概況

主力のAsReader事業は堅調に推移しており、新製品の投入に加え、顔認証プラットフォームの社会実装も進展しております。また、当期よりストックビジネスの強化を推進した結果、継続収益につながる案件を着実に獲得し、安定的な収益基盤の構築が進んでおります。さらに、当期より展開を開始したRFID関連の新サービスについても、多くの引き合いが受注につながっており、今後、新たな収益の柱として成長することが期待されます。

営業利益 (百万円)



営業利益 概況

営業利益につきましては、人員配置の最適化をはじめとする経費抑制や、業務プロセスの改善によるコスト削減を推進した結果、前年同期比では損失が拡大しました。一方で、売上計上時期の延期などによる売上高の減少に加え、外注費の増加に伴う売上原価の上昇や、不採算店舗の解消に係る一時的な費用の計上により、計画を下回る結果となりました。今後も引き続き収益構造の改善を進め、将来の収益性向上に向けた事業基盤の強化に取り組んでまいります。

1. (3) 地域別の業績推移 (売上高)

日本

前年同期比 -8.3%

1,400 百万円

(計画比 -21.0%)

アメリカ

前年同期比 -31.6%

90 百万円

(計画比 -82.4%)

その他

前年同期比 +243.2%

26 百万円

(計画比 +234.2%)

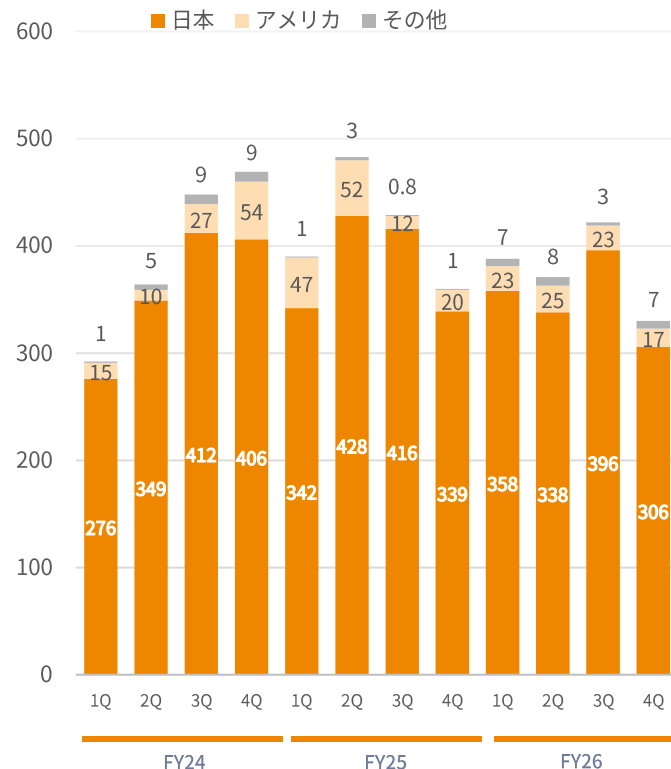
FY26 通期 概況

日本市場では、システムインテグレーション事業において、自社の新サービス開発へ経営資源を優先的に配分したことから、受託開発案件が一時的に減少し、売上高は前年同期及び計画を下回りました。一方、RFID関連の新製品はローンチ後の引き合いが受注につながるなど順調に進捗しており、今後の収益拡大に向けた事業基盤は着実に強化されております。

海外市場では、米国子会社における大型案件の売上計上時期が延期されたことなどにより、受注実績は前年同期比82.4%減となり、計画を下回りました。これを受け、営業体制の強化と新規顧客・案件の開拓を進め、中長期的な受注及び売上の拡大に取り組んでおります。

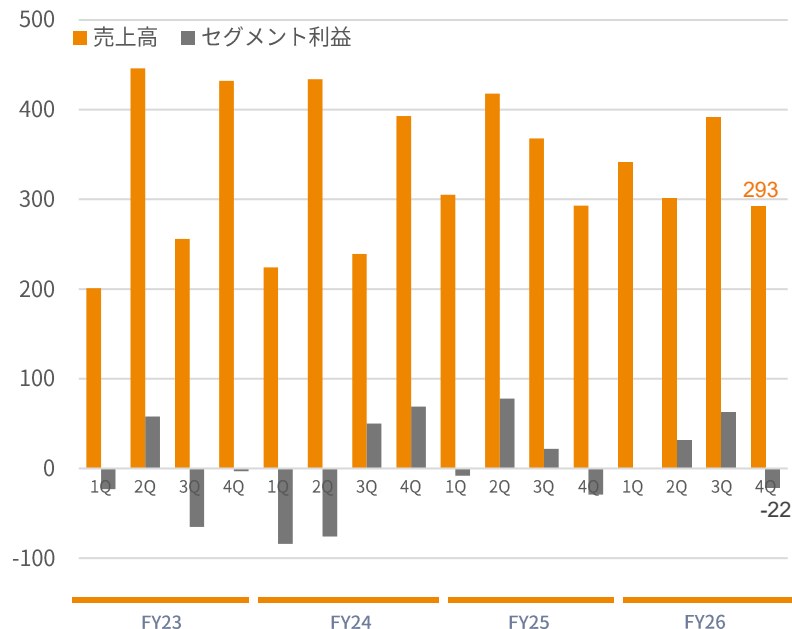
今後は、主力のAsReader事業に加え、RFIDソリューションや顔認証プラットフォームなどの成長分野へ継続的に投資するとともに、ストックビジネスを拡大することで、収益基盤の安定化と持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

地域別業績の推移 (百万円)



1. (3) セグメント別の業績推移 ー売上高・セグメント利益ー

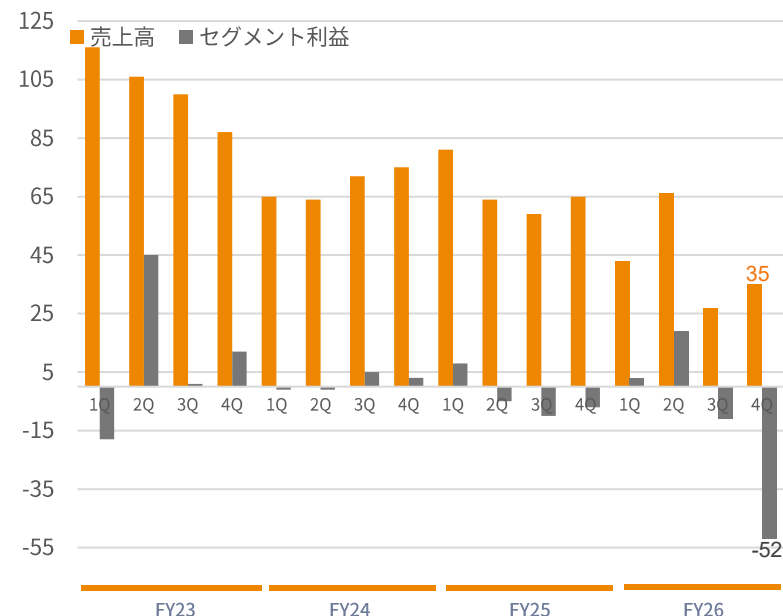
AsReader事業 (百万円)



AsReader事業 概況

主力のAsReader事業では、既存製品が堅調に推移するなか、高付加価値モデルへのシフトが進み、収益性も着実に改善しております。また、新型AsReaderやRFID関連の新サービスに対する引き合いが受注につながっているほか、顔認証プラットフォームやAI人追跡など、次世代サービスの社会実装も進展しております。さらに、ストックビジネスの強化により継続収益案件も増加しております。一部の大型案件では売上計上時期にずれが生じたものの、事業ポートフォリオの拡充と安定収益基盤の構築が進み、中長期的な成長に向けた事業基盤は着実に強化されております。

システムインテグレーション事業 (百万円)

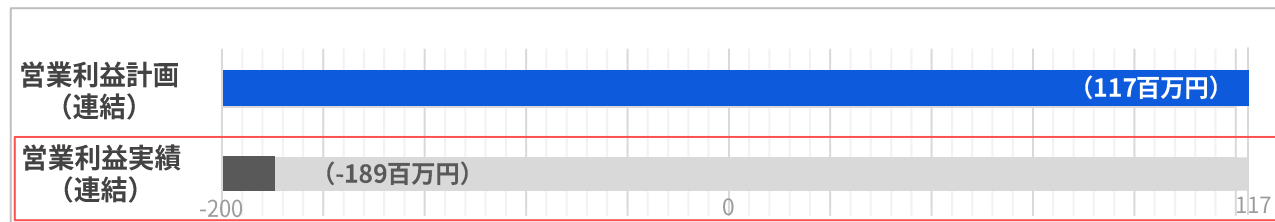
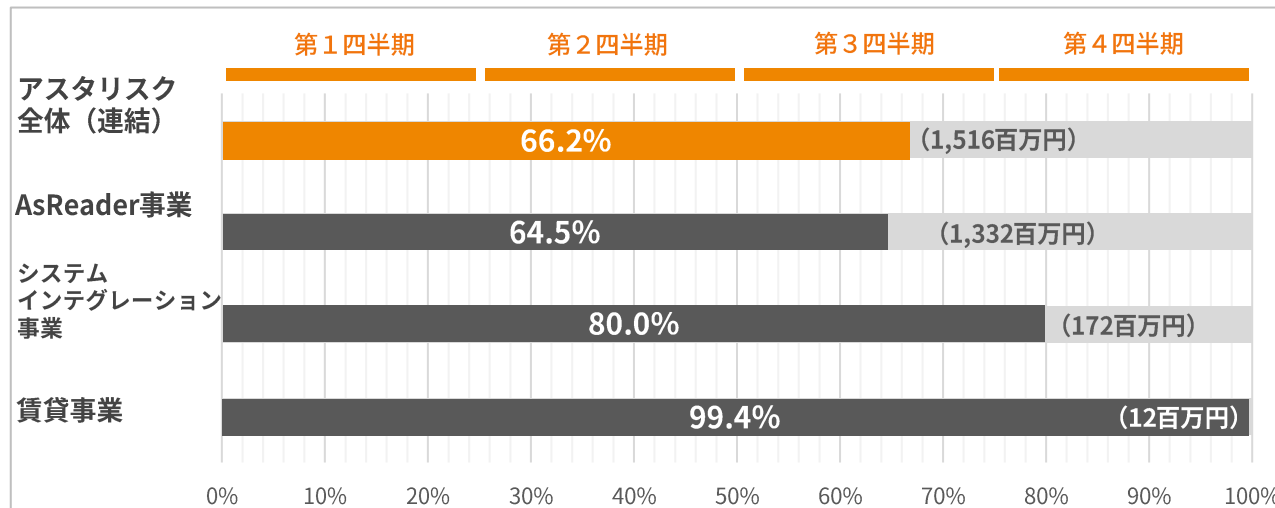


システムインテグレーション事業 概況

システムインテグレーション事業では、RFID関連サービスや顔認証プラットフォームなど、将来の成長を牽引する新サービスの開発へ経営資源を優先的に配分したことから、受託開発案件が一時的に減少し、売上高は前年同期及び計画を下回りました。また、一部の不採算案件における原価や新製品システムの開発費用を計上したことにより、セグメント損失となりました。一方、これらの取り組みを通じて、売り切り型から継続収益型への事業構造の転換を進めており、新たな収益基盤の構築は着実に進展しております。

セグメント別売上および営業利益 進捗状況

売上高は、国内外における一部の大型案件について、顧客との調整等により計上時期が次期以降へずれ込み、売上高は計画を下回りました。
営業損益は、売上高の計画未達に加え、一部の不採算案件における原価の発生、新製品・サービスの開発費用及び不採算事業の見直しに伴う一時費用を計上したことから、計画を下回りました。



FY26 当初通期業績予想

売上高 (連結)

2,291 百万円 (+37.5%)

前年度比

内訳

AsReader事業

2,063 百万円

システムインテグレーション事業

216 百万円

賃貸事業

12 百万円

営業利益 (連結)

117 百万円 (-125 百万円)

前年度

※上記は、2025年10月15日の「2025年8月期 決算短信(日本基準)(連結)」で公表いたしました、連結業績予想の進捗および業績予想となります。

1. (3) ビジネスハイライト P/L (連結)

	2025年8月期 期末	2026年8月期 期末	前年同期比
売上高	1,666百万円	> 1,516百万円	-9.0%
売上総利益	621百万円	> 614百万円	-1.2%
営業利益	-125百万円	> -189百万円	—
経常利益	-128百万円	> -156百万円	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	-182百万円	> -271百万円	—

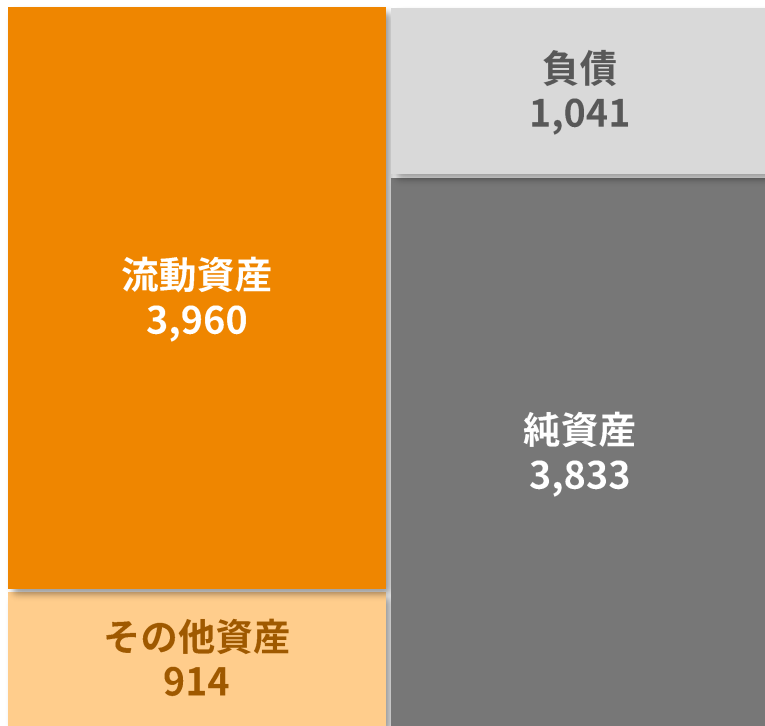
(百万円)	2025年8月期 期末	2026年8月期 期末
流動資産	1,729	3,960
現金および預金	932	3,104
売掛金および契約資産	276	226
商品および製品	404	484
その他	116	144
固定資産	1,051	914
有形固定資産	898	878
無形固定資産	21	6
投資その他の資産	131	29
資産合計	2,781	4,874

(百万円)	2025年8月期 期末	2026年8月期 期末
流動負債	984	983
買掛金	83	117
短期借入金	650	650
一年以内返済予定の 長期借入金等	21	19
未払金	49	54
その他	179	141
固定負債	67	58
負債合計	1,051	1,041
純資産合計	1,729	3,833
負債・純資産合計	2,781	4,874

総資産

4,874

(百万円)



高水準のキャッシュポジションを確保するとともに、
自己資本比率 **78.6%** (前期末62.1%) と

健全な財務基盤を保持

当社グループは、外部環境の変化にも耐え得る極めて強固な財務基盤を構築しており、事業成長に向けた研究開発やM&Aなどの戦略的投資を機動的に実行できる十分な財務余力を有しております。

（４）第20期（2026年8月期）単体業績ハイライト

売上高

前年同期比 -9.5%

1,462百万円

(計画比 -20.3%)

営業利益

前年同期 -71百万円

-55百万円

(計画から -163百万円)

当期純利益

前年同期 -124百万円

-335百万円

(計画から -398百万円)

FY26 通期 概況

単体利益が計画を下回った主な要因は、米国子会社に対する貸付金への貸倒引当金の計上に加え、リニアモーター、顔認証、AI人追跡、RFIDなど、今後の成長を担う分野への研究開発投資を積極的に実施したことによるものです。

また、不採算事業からの撤退に伴う売上高の減少や一時費用、一部の不採算案件における原価及び新製品システムの開発費用も、利益を押し下げる要因となりました。

一方、主力のAsReader事業は堅調に推移しております。既存製品の安定的な販売に加え、高付加価値モデルへのシフト、新型AsReaderやRFID関連サービスの受注、顔認証プラットフォームの社会実装も進展しております。さらに、ストックビジネスの強化により継続収益につながる案件も着実に増加し、安定的な収益基盤の構築が進んでおります。

技術面では、国内外におけるRFID関連特許の取得及び権利化を進めるとともに、RFID分野で高い専門性を有する韓国の技術者チームを新たに獲得し、研究開発体制を一層強化しております。これにより、特許ポートフォリオの拡充と開発力の向上を通じて、競争優位性と参入障壁の更なる強化を図っております。これまで続けてきた研究開発投資は、新製品・サービスのローンチや受注獲得につながるなど、その成果が具体化し始めております。

今後は、これらの技術やサービスを「投資フェーズ」から「収益化フェーズ」へ段階的に移行させ、国内での導入拡大を起点に、米国をはじめとする海外市場への展開を加速してまいります。高付加価値製品の拡販とストックビジネスの拡大を両輪として、収益性と安定性を兼ね備えた事業構造を構築し、中長期的な利益成長と企業価値の向上を目指してまいります。

2．経営環境、当社の動きと成長イメージ

経営環境や今後の当社の動きと成長イメージなどの成長戦略につきましては、本日開示の「事業計画及び成長性に関する事項」に記載し、詳細をご説明いたします。

【お問い合わせに当たってのお願いとご注意事項】

- お問い合わせ内容によってはお答えできない場合もございます。
- 下記①～④に該当するご質問は、IRからの回答を差し控えておりますので、あらかじめご了承ください。
 - ①金融商品取引法第166条「重要事実」に該当する可能性のあるご質問
(株価に関する対策、配当・株主還元に関する内容など)
 - ②非公開情報に関するご質問 (業績動向、将来予測・見通しなど)
 - ③株式市場の値動きに関するご質問 (株価動向、テクニカル分析、売買手口など)
※当社株価の上下変動や当社が非開示の将来的な株価対策などに関し、個別にお答えすることは差し控えております。
 - ④誹謗中傷に該当するメッセージ (いわれの悪い悪口、根拠のない名誉棄損など)
- 当社からご回答としてお送りするメール (電話での回答含む) は、株主・投資家の皆様からお寄せいただいたお問い合わせなどに回答する目的で、個人宛てにお答えするものです。
その内容の一部または全部を転載、二次利用することはご遠慮ください (SNSや、株式関連サイトの掲示板への書き込みなどもご遠慮ください)。
- 各種アンケート、営業目的 (売り込み目的) のお問い合わせなどにつきましては、お受けできませんのであらかじめご了承ください。

【本資料へのご意見・ご質問】

本説明会資料やIRに関するご意見・ご質問は、弊社ホームページの「IRお問い合わせ」フォームよりお寄せくださいますようお願い申し上げます。
誠に恐れ入りますが、お電話でのご質問にはお答えいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

【IRお問い合わせ】

(URL) https://www.asx.co.jp/ir/other_info/inquiry/



免責事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。